



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月8日
上場取引所 東

上場会社名 小林製薬株式会社
 コード番号 4967 URL <https://www.kobayashi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 章浩
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFOユニット長 (氏名) 中川 由美 TEL 06-6222-0142
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
 配当支払開始予定日 2023年9月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	73,625	3.3	10,406	5.5	11,174	2.5	7,864	2.1
2022年12月期第2四半期	71,264	6.3	9,868	△3.6	10,904	△1.7	7,700	△2.3

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 14,549百万円 (26.7%) 2022年12月期第2四半期 11,481百万円 (1.3%)

	1株当たり四半期純利益
	円 銭
2023年12月期第2四半期	103.35
2022年12月期第2四半期	99.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	266,573	208,591	78.1
2022年12月期	255,827	197,900	77.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 208,234百万円 2022年12月期 197,639百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	38.00	—	52.00	90.00
2023年12月期	—	43.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	53.00	96.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	172,000	3.5	25,500	△4.4	26,500	△6.3	20,200	0.9	265.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
除外：1社（社名）上海小林日化有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	78,050,000株	2022年12月期	78,050,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	1,921,986株	2022年12月期	2,036,086株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	76,098,386株	2022年12月期2Q	77,346,336株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

当社は2023年8月9日（水）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料につきましては、開催当日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループをとりまく経営環境は、新型コロナウイルス感染症の落ち着きに伴って多くの国で経済活動が再開し、国・地域を越えた移動も増加傾向にある中、原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇に伴う消費低迷の懸念や、地政学リスクの高まりなど、先行きが不透明な状況が続きました。

そうした状況の中、当社グループは「あったらいいな」をカタチにする」をブランドスローガンに、お客様のニーズを満たす新製品の発売や既存製品の育成、今後の成長事業への投資に努めてまいりました。

その結果、売上高は73,625百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は10,406百万円（前年同期比5.5%増）、経常利益は11,174百万円（前年同期比2.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,864百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

従来、国内事業・国際事業・通販事業・その他で開示しておりましたセグメント情報については、第1四半期連結会計期間の期首より、通販事業を国内事業に統合することとし、国内事業・国際事業・その他で開示しております。

この変更に伴い、前年同四半期連結累計期間の数値を変更後の区分に組み替えた数値で記載・比較しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

国内事業

当事業では、40代からの長引く排尿痛や残尿感を改善する漢方薬「ボーコレンエージ+ 猪苓湯合四物湯錠（ちよれいとうごうしもつとうじょう）」や、繰り返すめまいに効く漢方薬「メイマック」、洗いたての気持ちいい香りのでつめ替え可能な芳香・消臭剤「消臭元SAVON」など、今年春に13品目の新製品を発売し、売上に貢献しました。

また、花粉飛散量が昨年に比べて増加したことで、瞳をまるごと洗える洗眼薬「アイボン」や痛くない鼻うがいができる「ハナノア」が好調に推移しました。

さらに、訪日外国人数の増加に伴い、インバウンド需要も増加し、売上に貢献しました。

一方、市場の低迷や競争環境の激化により芳香・消臭剤が苦戦し日用品が減収となりました。また売上に大きく貢献する新製品を発売できなかった通販も低迷しました。

その結果、売上高は60,193百万円（前年同期比1.1%増）、セグメント利益は9,313百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では2,089百万円、当第2四半期連結累計期間では2,425百万円となっております。

なお、セグメントの変更に伴い、以下の外部顧客への売上高の内訳につきましても、スキンケアをヘルスケアに含め、日用品に含めていた医療用カイロをカイロに含める変更をしており、前年同四半期連結累計期間との比較は前年同四半期の数値を変更後の区分に組み替えた数値で記載しております。

(外部顧客への売上高の内訳)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	増減	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)
ヘルスケア	29,489	30,919	1,429	4.8
日用品	22,069	21,233	△836	△3.8
カイロ	1,649	1,777	128	7.8
通販	4,250	3,837	△413	△9.7
合計	57,459	57,767	308	0.5

国際事業

当事業では、米国・中国・東南アジアを中心に、カイロや額用冷却シート「熱さまシート」、外用消炎鎮痛剤「アンメルツ」などを販売しており、広告や販売促進など積極的に投資することで、売上拡大に努めました。

米国では、昨年、一部製品で欠品が発生した米国のOTC医薬品メーカーAlva社が今年は反動で売上が増加した一方、暖冬の影響でカイロが苦戦し、円安による為替変動の影響を除くと、減収となりました。

中国は、暖冬の影響でカイロが苦戦しましたが、昨年のロックダウンの反動もあり増収となりました。

東南アジアは「熱さまシート」が好調で、タイにおいては中国人観光客によるインバウンド需要の増加も見られ、増収となりました。

その結果、売上高は16,571百万円（前年同期比14.7%増）、セグメント利益は869百万円（前年同期比496.9%増）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では949百万円、当第2四半期連結累計期間では1,033百万円となっております。

（外部顧客への売上高の内訳）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）	増減	
	金額（百万円）	金額（百万円）	金額 （百万円）	増減率 （%）
米国	4,435	4,663	228	5.2
中国	4,464	5,512	1,048	23.5
東南アジア	3,206	3,810	603	18.8
その他	1,396	1,550	154	11.0
合計	13,503	15,538	2,034	15.1

その他

当事業には、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおり、各社は独立採算で経営し、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は3,468百万円（前年同期比3.7%増）、セグメント利益は280百万円（前年同期比13.8%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では3,041百万円、当第2四半期連結累計期間では3,149百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ10,745百万円増加し、266,573百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少（9,979百万円）、商品及び製品の増加（8,538百万円）、建設仮勘定の増加（7,529百万円）、投資有価証券の増加（5,226百万円）等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ54百万円増加し、57,981百万円となりました。主な要因は、未払金の減少（1,924百万円）、繰延税金負債の増加（1,970百万円）等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ10,691百万円増加し、208,591百万円となり、自己資本比率は78.1%となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（3,100百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（3,523百万円）、為替換算調整勘定の増加（3,042百万円）等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは7,246百万円(前年同四半期は18,819百万円)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益11,065百万円、減価償却費2,276百万円、売上債権の減少額10,549百万円、棚卸資産の増加額9,424百万円、未払金の減少額2,109百万円、法人税等の支払額4,455百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは△8,083百万円(前年同四半期は△781百万円)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出25,131百万円、定期預金の払戻による収入25,415百万円、有形固定資産の取得による支出7,624百万円です。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは△4,061百万円(前年同四半期は△7,724百万円)となりました。これは主に、配当金の支払額3,950百万円です。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末より3,894百万円減少し、75,586百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年2月14日付け公表の「2022年12月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	96,233	91,184
受取手形及び売掛金	47,881	37,901
有価証券	8,300	8,300
商品及び製品	9,985	18,524
仕掛品	1,304	2,328
原材料及び貯蔵品	6,389	6,970
その他	2,825	3,434
貸倒引当金	△28	△25
流動資産合計	172,892	168,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,507	10,279
機械装置及び運搬具（純額）	5,361	5,108
工具、器具及び備品（純額）	1,453	1,464
土地	4,703	4,906
リース資産（純額）	771	860
建設仮勘定	12,982	20,511
有形固定資産合計	34,778	43,130
無形固定資産		
のれん	7,147	7,258
商標権	3,274	3,100
ソフトウェア	2,399	2,574
その他	485	500
無形固定資産合計	13,307	13,434
投資その他の資産		
投資有価証券	28,509	33,735
長期貸付金	975	1,061
繰延税金資産	1,750	2,088
投資不動産（純額）	2,707	2,693
その他	1,932	2,918
貸倒引当金	△1,026	△1,106
投資その他の資産合計	34,848	41,389
固定資産合計	82,934	97,955
資産合計	255,827	266,573

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,051	10,586
電子記録債務	9,005	9,702
未払金	20,409	18,484
リース債務	261	343
未払法人税等	3,987	2,879
未払消費税等	921	237
賞与引当金	2,553	2,482
その他	5,619	4,221
流動負債合計	51,809	48,937
固定負債		
リース債務	531	539
繰延税金負債	1,310	3,280
退職給付に係る負債	2,034	2,047
その他	2,242	3,176
固定負債合計	6,118	9,044
負債合計	57,927	57,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	522	522
利益剰余金	194,285	197,386
自己株式	△14,482	△13,671
株主資本合計	183,775	187,687
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,346	13,869
為替換算調整勘定	4,352	7,394
退職給付に係る調整累計額	△834	△717
その他の包括利益累計額合計	13,864	20,547
新株予約権	260	355
非支配株主持分	—	1
純資産合計	197,900	208,591
負債純資産合計	255,827	266,573

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	71,264	73,625
売上原価	30,334	31,134
売上総利益	40,930	42,490
販売費及び一般管理費	31,061	32,083
営業利益	9,868	10,406
営業外収益		
受取利息	35	116
受取配当金	243	251
不動産賃貸料	149	147
為替差益	478	158
その他	360	271
営業外収益合計	1,268	945
営業外費用		
支払利息	9	11
不動産賃貸原価	48	51
貸倒引当金繰入額	77	80
その他	96	34
営業外費用合計	232	177
経常利益	10,904	11,174
特別利益		
固定資産売却益	2	2
その他	8	—
特別利益合計	10	2
特別損失		
固定資産除売却損	31	29
製品不良関連損失	—	66
その他	22	15
特別損失合計	53	111
税金等調整前四半期純利益	10,860	11,065
法人税、住民税及び事業税	2,864	3,065
法人税等調整額	296	133
法人税等合計	3,160	3,198
四半期純利益	7,700	7,866
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,700	7,864

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	7,700	7,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,012	3,523
為替換算調整勘定	4,657	3,042
退職給付に係る調整額	136	117
その他の包括利益合計	3,781	6,682
四半期包括利益	11,481	14,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,481	14,547
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,860	11,065
減価償却費	2,112	2,276
のれん償却額	466	512
受取利息及び受取配当金	△279	△367
支払利息	9	11
固定資産除売却損益 (△は益)	29	27
売上債権の増減額 (△は増加)	19,397	10,549
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,393	△9,424
仕入債務の増減額 (△は減少)	△184	1,610
未払金の増減額 (△は減少)	△2,699	△2,109
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△661	△710
その他	△940	△2,067
小計	22,717	11,372
利息及び配当金の受取額	291	342
利息の支払額	△11	△13
法人税等の支払額	△4,178	△4,455
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,819	7,246
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△24,639	△25,131
定期預金の払戻による収入	23,745	25,415
有価証券の取得による支出	—	△2,000
有価証券の売却及び償還による収入	5,613	2,000
有形固定資産の取得による支出	△4,912	△7,624
有形固定資産の売却による収入	2	2
無形固定資産の取得による支出	△457	△428
投資有価証券の取得による支出	△6	△205
その他	△127	△111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△781	△8,083
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1	—
自己株式の取得による支出	△4,056	—
配当金の支払額	△3,574	△3,950
その他	△91	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,724	△4,061
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,305	1,003
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	11,619	△3,894
現金及び現金同等物の期首残高	81,987	79,480
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△22	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	93,584	75,586

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下、「時価算定会計基準適用指針」)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	国内 事業	国際 事業	計				
売上高							
日本	57,459	—	57,459	302	57,761	—	57,761
米国	—	4,435	4,435	—	4,435	—	4,435
中国	—	4,464	4,464	—	4,464	—	4,464
東南アジア	—	3,206	3,206	—	3,206	—	3,206
その他	—	1,396	1,396	—	1,396	—	1,396
顧客との契約から生じる 収益	57,459	13,503	70,962	302	71,264	—	71,264
外部顧客への売上高	57,459	13,503	70,962	302	71,264	—	71,264
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,089	949	3,038	3,041	6,080	△6,080	—
計	59,548	14,452	74,000	3,344	77,344	△6,080	71,264
セグメント利益	9,463	145	9,608	325	9,934	△65	9,868

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△65百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	国内 事業	国際 事業	計				
売上高							
日本	57,767	—	57,767	319	58,087	—	58,087
米国	—	4,663	4,663	—	4,663	—	4,663
中国	—	5,512	5,512	—	5,512	—	5,512
東南アジア	—	3,810	3,810	—	3,810	—	3,810
その他	—	1,550	1,550	—	1,550	—	1,550
顧客との契約から生じる 収益	57,767	15,538	73,305	319	73,625	—	73,625
外部顧客への売上高	57,767	15,538	73,305	319	73,625	—	73,625
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,425	1,033	3,458	3,149	6,608	△6,608	—
計	60,193	16,571	76,764	3,468	80,233	△6,608	73,625
セグメント利益	9,313	869	10,183	280	10,463	△57	10,406

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△57百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは経営管理区分の見直しを行ったことに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「国内事業」「国際事業」「通販事業」の3区分から、「通販事業」を「国内事業」に組み込み、「国内事業」「国際事業」の2区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づいて作成したものを開示しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。